

2023年9月14日

各位

会社名 株式会社キャンバス
代表者名 代表取締役社長 河邊拓己
(コード番号：4575東証グロス)
問合せ先 取締役最高財務責任者 加登住眞
IR@canbas.co.jp

抗がん剤候補化合物CBT005に関する日本大学医学部との研究連携開始のお知らせ

当社はこのたび、当社が研究を進めている次世代開発パイプライン候補化合物CBT005について、日本大学医学部総合医学研究所（東京都板橋区）との研究連携を開始することとなりましたので、お知らせします。

この研究連携について当社は、CBT005を前臨床試験へ進めるための準備のひとつと位置づけています。まず、膵臓がんを自然発症するモデルマウス* にCBT005と免疫チェックポイント阻害抗体などを併用投与して抗腫瘍効果を総合的に検討する委託研究をこのたび開始します。

* 当社は東京大学医学部附属病院との間でも膵臓がん発症モデルマウスを用いた共同研究を実施していますが、今回のモデルマウスは遺伝子変異の一部が異なるものです。
がん組織におけるがん細胞の遺伝子変異は多様であるといわれており、幅広いがんへの効果を総合的に検討できると期待しています。

CBT005は、当社の基礎研究から創出された次世代開発パイプライン候補化合物です。

樹状細胞やマクロファージなどの貪食細胞（標的細胞を取り込み、得られた抗原を攻撃対象あるいは非攻撃対象としてリンパ球に提示する役割を持つ）の活性化を促し、自然免疫と獲得免疫を刺激することを期待しています。

現在臨床試験を進めている最先行化合物CBP501を含む3剤併用投与にCBT005を加えて投与した社内動物実験において有望なデータが得られており、当社はこれを前臨床試験（ヒトを対象とする臨床試験の開始を申請するために必要なデータを取得する動物試験）へ進める候補のひとつとしています。

現時点では不確定要因が多いものの、当社の中長期的な研究開発の中軸のひとつとなり得るプロジェクトです。

この委託研究契約に基づき当社は、研究に使用する薬剤等の物品提供のほか、直接研究経費・管理経費を負担します。

本件による当期業績への影響は軽微ですが、当社の企業価値の源泉である開発パイプラインの拡充による中長期的な企業価値の向上に寄与することが期待されます。

以上